（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ピース八尾支店

公表日　2026　年　5　月　18　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	未就学児だけなら問題無い広さだと思うが、小学校高学年が増えると微妙なので、使用していない机や椅子の片付け、玩具が散らかり過ぎないように片付けの誘導など適宜行なっている。	施設基準としては問題無い広さではあるが、高学年の児童が多い日は狭いと感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	急な病欠等で施設職員が少ない日はグループ法人から応援を呼ぶなどし、適切な配置人数を保っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	玩具の置き場所が分かりやすいように写真やイラストを貼っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	13	0	必要に応じて談話室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	半年に一度、法人代表との査定面談を行い業務改善について目標設定等を行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	毎朝（平日）朝礼を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6	グループ法人の所長レベルの方々と施設の現状把握/情報共有をし最新の法改正の知識の共有を図り、業務改善に繋げております。	正式な第三者評価を受けられるよう準備を進めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	定期的に外部研修に参加している。対面式の研修が難しい時があるため、アプリタイプの研修サイトとも契約し各職員のペースで受講できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	13	0	HPとインスタグラムにて公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0		半年に一回だけでは不十分なケースもあるので、できるだけ面談機会を確保していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	計画書を作成する前や途中で会議を行なっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0		支援内容の専門性が高すぎる内容だと、バイトスタッフの介入が難しい時もあるので、支援内容の細分化により、全てのスタッフが全ての児童に関われるような工夫をしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	同じイベントばかりにならない様、同じイベントは半年 or 1年あけて入れるようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	活動について10日程前の朝礼にて共有を行い、当日にもリマインドで共有を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	13	0	翌日の朝礼にて前日の活動について振り返りを含めた意見交換を行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0	13	しょうとく園の見学や体験に行かせていただく計画を今年度は立てている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11		公園遊びの際は地域の子供らと一緒に鬼ごっこなどし交流しているが、まだまだ不十分である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	保護者様とはLINEで繋がらせていただいているので、個々の問題については随時ご連絡をいただいているので、それぞれに対応させていただいている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	7	保護者会では療育や支援方法に関する講義を行なっている。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時にしっかり説明させていただいている。支援プログラムについては日々の帰宅送迎時にその日の活動内容について説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	13	0	偏食のある児童が多いので、クッキングの際には予め保護者様に提供内容の確認をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	LINEで繋がっていただいているので、日時に遠慮することなく、色々ご相談いただけている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0		もう少し定期的に保護者間の交流を図る機会があってもいいと感じるが、共働きのご家族や保護者交流が苦手な方も多くいらっしゃるのが現状である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	今まで大きな苦情はいただいておりませんが、もし今後クレーム等ございましたら、真摯に対応させていただく所存にございます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	HPで日々の活動の報告を行い、インスタグラムでイベントの報告を行なっている。去年度から施設利用者限定の通信ツールも開始したところである。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	インスタ等のSNSなどでは各保護者の意見を尊重した画像の処理をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	児童の視覚優位/聴覚優位を配慮した関わりや、療育や支援について精通しておられない保護者様にも伝わり易い話し方を意識し、日々関わっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	6	ヒーローショーを通して、高校生ボランティアとの交流は2年程続いている。	地域のお子様を招待することに関しては利用児童の保護者様全員から承諾をいただくのは難しい状況です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	児童を絡めた災害訓練は年間を通してそれなりに行なえている。	バイトスタッフ全員を含めた訓練を行うのはタイミング的に難しい状態である。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	保護者様からしっかりしたご連絡をいただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		現時点ではケース該当者はいないので、医師からの指示書等は特にいただいていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		安全管理に関する研修はもっと幅広い内容の物を受講できればと感じる。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	13	0	契約時に一通り説明させていただいている。	大災害についての安全計画に関してはご家族様との連携を想定した訓練はなかなか行えていないのが現状である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	毎朝礼で前日のヒヤリハットについて報告しあっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	管理者が毎年の研修を受講し、施設内にて伝達研修を行なっている。	ゆくゆくは児童指導員複数名に研修受講を任せられるようにしていきたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0		想定はしているものの、該当者がこれまで無かったので、実感としては今一理解度が不十分な状態ではある。